事業所名:　ハピネス　五戸

作成日:　平成　29年　12月　15日

2　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 前回の目標に“言葉による制止・事故防止の為の過剰な見守り等、自由の制限について学ぶ”を挙げていたが、言葉がけについては実践不足だった。	・自由の制限(言葉による拘束)について、学んだことの実践を行う。	①「ちょっと待ってください」を言わない。 「ちょっと待ってください」ではなく「あと～分後でしたら大丈夫です」等、否定せず、納得して頂くような声掛けをする。 ②グループホーム会議で、どのような言葉がけがその方一人ひとりに合っているか等の意見を出し合う。	12か月
2					か月
					か月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。